茨協ニュース

第87号
平成25年12月1日

一般社団法人　茨城県ビルメンテナンス協会

匠の技術とサービスで
業界の未来に活力を…！

CONTENTS　目　次　CONTENTS

- 第42回関東甲信越地区例会（茨城例会）特集…… 2
- 平成25年度技術者研修会 …… 8
- 平成25年度労働安全衛生大会 ……10
- 労働安全衛生標語入賞作品の紹介……11
- 第13回全国ビルクリーニング技能競技会 ……12
- 小学生清掃活動トレーニング事業……14
- 平成25年度ビルクリーニング技能検定受検準備講習会…16
- 平成25年度シニアワークプログラム事業 ……16
- 理事会だより……17
- 各委員会だより……18
- 平成26年 新春賀詞交歓会開催のお知らせ ……18
- 会員告知板……19
- 茨城労働局からのお知らせ……19
- 会員紹介ページ……20
- 編集後記……22

特集

第42回関東甲信越地区例会・茨城例会の開催

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会第42回関東甲信越地区例会・茨城例会が、10月10日（木）～11日（金）の日程で、ホテルマロウド筑波にて開催されました。

本県協会が開催するのは９年ぶりとなりますが、関東甲信越地区の９県協会から145名が出席し、盛大な例会となりました。

例会は、午後１時30分からホテル１階の「鳳凰の間」で、本県協会の曽根理事の司会進行により、来栖副会長の開会ことばで始まりました。

司会：曽根理事

開会のことば
来栖副会長

村田地区本部長あいさつ

まず、主催者を代表して村田 茂行 関東甲信越地区本部長から、ご来賓並びに出席者に対する感謝の挨拶があり、次に開催県協会を代表して大山会長から、歓迎の挨拶がありました。

次に、ご来賓を代表して茨城県理事兼知事公室長 小野 義久 様からご祝辞をいただき、自民党県連会長 参議院議員 岡田 広（秘書代理）様、土浦市副市長 五頭 英明 様及び土浦市市民生活部環境衛生課長 日高 康雄 様をご紹介しました。

来賓あいさつ
茨城県理事兼知事公室長
小野様

次に、茨城６区選出 元厚生大臣 衆議院議員 丹羽 雄哉様からの祝電を披露しました。

ここで、ご来賓は、大きな拍手の中、ご退席されました。

次に、各県協会の出席者を、神奈川県（18名）、新潟県（９名）、長野県（３名）、埼玉県（12名）山梨県（７名）、栃木県（13名）、千葉県（21名）、群馬県（11名）、本県（47名）の順で紹介しました。

議長：田口理事

その後、例会は、議事に移り、本県協会の田口理事を議長に選出しました。

田口議長の進行により、まず全国協会報告として、全国協会の鴻副会長（神奈川県協会長）から、講習事業の講師の推薦、労働災害調査事業、ビルメンヒューマンフェア‘13、第20回世界ビルメンテナンス大会に関する説明がありました。

全協報告
鴻全協副会長

次に、各県協会報告に移りました。

今回の報告事項は、「収入を伴う協会事業の実施状況」ですが、開催県として本県協会が提案したものです。

提案の理由は、来年４月からの消費税率の上昇や、経済情勢の好転による物価の上昇などにより、今後、支出面での「自然増」が避けられないことから、事業収入の増額に向けての情報交換が必要と考えたことによるものです。

県協会報告
宮内副会長

各県協会の代表者が、順に事業の実施状況等を報告しましたが、本県協会では、宮内副会長が対応をしました。出席者は、各県協会の様々な事業を知る機会ともなり、大変有意義なものでした。

以上で議事は終了し、講演会に移りました。

講演会：東明 有美氏

講師として、元女子サッカー日本代表の東明（とうめい） 有美（ゆみ）先生をお迎えし、「なでしこジャパンに学ぶ世界一のチームワーク」という演題で、講演が行われました。東明先生は、今日の日本女子サッカーの、繁栄の基礎を築いた一人であり、当事者でなければ分からない貴重なお話が随所に出てきて、業務の参考になることが多々ありました。みんな真剣な表情で先生の話に聞き入ったため、講演時間の90分が短く感じられた人も多かったと思います。

講演会は盛況のうちに終了し、次期開催県協会長あいさつに移りました。

次期開催となる栃木県協会の高橋会長から、皆様方との再会を楽しみにしておりますとのご挨拶をいただきました。

次期開催県あいさつ
高橋 栃木県協会長

閉会のことば
高野理事

その後、本県協会の高野理事の閉会のことばで、予定どおり会議を終了しました。司会の曽根理事、最後までお疲れ様でした。

これも、スタッフとして、例会の運営を陰で支えてくれた多くの会員各社の社員のご尽力があってのことです。

土浦駅やホテル駐車場での案内、会場での受付と案内、そして記録（写真撮影）と、素晴らしいチームワークでご活躍をいただきましたことに、感謝!!

スタッフの皆さん、お疲れさまでした。

茨城例会　懇親会

会議終了後、ホテル２階「天翔の間」に会場を移して、午後６時から懇親会が開催されました。

本県協会の鷹巣理事の司会進行により、まず、開催県協会を代表して大山会長から挨拶をいただき、本県協会の矢口監事の乾杯の発声により、宴が始まりました。

まず、ご来賓の衆議院議員 丹羽 雄哉（代理秘書）様、参議院議員 橋本 聖子様、参議院議員 上月 良祐様から、それぞれご祝辞をいただき、土浦市副市長 五頭 英明様、土浦市議会議員 矢口 廸男様をご紹介しました。

また、県議会開会中のため、遅れてご出席された県議会議長 白田 信夫様と県議会議員 井沢 勝徳様は、ご到着時にご紹介をしました。

この懇親会は、関東甲信越地区でビルメンテナンス業の第一線でご活躍中の方々が、本音で語り合える貴重な機会でもあり、和やかな雰囲気の中で情報の交換や共有が図られておりました。

ほどよく酔いが回った頃、本県に拠点を置く井坂流津軽三味線の一門（約30名）によるアトラクションが始まりました。

繊細で迫力のある津軽三味線の演奏、華やかな民謡と踊り、次から次へと繰り広げられるステージ上のパフォーマンスは、勢いをどんどん増して行き、聴衆は完全に“くぎづけ状態”となりました。

そこは懇親会の会場というより、音楽のライブ会場のような雰囲気さえ感じるほどでした。井坂流津軽三味線は、まさに郷土いばらきの誇り‼です。

アトラクションが大盛況のうちに終了し、その興奮が冷めない中で、本県協会の池田理事のお開きのことばにより、懇親会は終了しました。皆様、お疲れ様でした。

司会：鷹巣理事

ご来賓：橋本聖子参議院議員

第42回関東甲信越地区例会・茨城例会ゴルフコンペに参加して

協会理事（総務委員長）
日本不動産管理㈱　鷹巣　祐次

10月10日、11日の２日間にわたる関東甲信越地区例会・茨城例会は、初日の懇親会での津軽三味線演奏が盛大な盛り上がりを見せ、まだその余韻がさめやらぬ中、ゴルフコンペ当日の朝を迎えました。

この日は、朝から小雨が降り、あいにくの天気でしたが、ゴルフ場に到着する頃には雨も上がり、皆さん最高の笑顔での集合写真となりました。

ゴルフコースは富士OGMゴルフクラブ出島コースにおいて、参加人数40名（10組）アウトコース・インコース５組ずつに分かれ午前９時３分盛大にスタートしました。

参加者40名の想いが込められたせいか、天気も青空になるほどに持ち直し、この日は10月にはめずらしく28℃くらいになりました。

心地よい秋風が吹き、すがすがしい陽気の中、絶好のゴルフ日和となり、プレーを思う存分満喫することができました。

コースは広々としていて思いっきり打てることもあり、飛距離を出す人、力んでしまってＯＢを出す人、池ポチャする人、グリーンピンそばまで飛ばしバーディをとる人など、ゴルフはその時その時のドラマがあり、またそう簡単には思うようにならないところも、人をひきつける魅力なのだと思います。

終わってみれば、我が成績も反省しきりというところでした。

参加者の皆さんも心地よい汗をかき、プレーを終えて入浴しながら、本日の名プレーや珍プレーなど楽しいゴルフ談義に花を咲かせておりました。

表彰式は、終始和やかなムードの中で行われ、当県の大山会長より受賞者に賞品が手渡されました。

競技方法は新ペリア方式で行われ、結果は埼玉県協会の神保氏が72.2というスコアで優勝し、茨城県協会員の小堀氏が71.8というスコアで準優勝しました。

スコアの良い小堀氏が準優勝となったのは、当大会のルールで「茨城県協会員の優勝はありません」ということでの結果となりました。３位には茨城県協会員の三瓶氏がネット72.4、グロス76でベストグロス賞も受賞しました。優勝から３位までわずか0.6の差で、まさに白熱したコンペでした。

今回のゴルフコンペを通して、他県のパートナーさんと和気あいあいとした雰囲気の中で楽しむプレーのひと時は、ゴルフを愛好する者にしか味わえない貴重な体験でした。

本企画を担当された方々に、心より厚く御礼申し上げます。

第42回関東甲信越地区例会・茨城例会観光コースに参加して

日興美装工業㈱　助川　和徳

今回の例会の開催地である茨城県土浦市とその周辺を、参加者44名で大型バスで巡りました。天候は晴れでしたが、風が強めでした。

最初に向かったのは、予科練平和記念館です。

「予科練平和記念館」前にて

予科練とは、海軍飛行予科練習生及びその制度の略称で、本格的な航空機時代の始まりに欧米列強に遅れまいとした旧海軍が、より若いうちから搭乗員を多く育てる目的で、昭和５年に横須賀で始め、昭和14年に霞ヶ浦海軍航空隊に移転しました。

軍歌「若鷲の歌」でご存知の方も多いと思います。

14才半から17才までの少年を全国から試験で選抜し、うち２万４千人が飛行練習生課程を経て戦地へ赴き、特別攻撃隊として死を前提とした出撃をした者も多かったそうです。

観光コースに参加された方の中にも、親類・知人が予科練だった方もおられ、みなさん、命の尊さや平和の大切さを真剣に考える時間となりました。

次に、カガミクリスタルで江戸切子などの製造工場を見学しました。

ドイツに留学し日本にクリスタルガラスの透明な美しさやグラヴィール彫刻を紹介した、各務鑛三（かがみこうぞう）氏によって、日本初のクリスタルガラス専門工場として創立されました。昭和18年からは、皇室の御用達となっています。また、世界各国の王室・大統領などの国賓との晩餐会や、世界250ヶ国以上にある日本大使館・領事館でのおもてなしの場で日本を代表するグラスとして使用されているそうです。

伝統工芸士の作品に魅了され、みなさん、いろいろお買い求めになられていました。

また、今回、関東甲信越地区例会という大きな会合であることをカガミクリスタルさんにご理解いただき、ゴルフコースの優勝者へのクリスタルオーナメントを提供していただきました。

昼食は、シャトーカミヤでＢＢＱを堪能しました。

昼食は「シャトーカミヤ」バーベキュー！

生ワインにＢＢＱ堪能中！

神谷氏のフランス留学でのぶどう栽培や醸造技術を生かした、自家製ぶどうによる生ワインなどを飲みながら、自分で焼いて食べるお肉はとてもおいしく、大盛況になりました。

ただ、100年の歴史があり国の重要文化財に指定されている、シャトーカミヤのレンガづくりの旧醸造場施設などは、東日本大震災による損壊の修復作業中（あと２年かかる）のため建物全体がシートで覆われていたので、見学することができませんでした。

最後は、土浦港から遊覧船に乗り、明治時代に始まった霞ヶ浦の風物詩である「帆引き船」の観光操業の見学です。

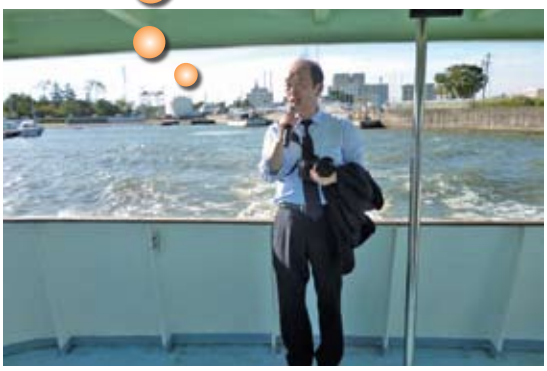
遊覧船でいざ出港！

雄大な霞ヶ浦に白い帆を上げ、優雅に走る帆引き船を見学していただく予定でしたが、午後からの強風により、沖合で待機していただいていた帆引き船は帰港となりました。

しかし、強風による豪快な水しぶきを上げて快走する遊覧船は、まるでディズニーランドのスプラッシュマウンテンのようで、展望甲板にいた勇者の中にはずぶ濡れになられた方もおられましたし、これはこれで楽しい体験ができました。

実は、この観光操業は、７月から11月の日曜日に行われており、漁師さん達もそれぞれの専業がある中、今回、関東甲信越地区例会だけに平日開催していただくため、関係各所との交渉の末に実現したものでしたので、茨城例会実行委員会としてもとても残念でしたが、自然の力にはかないません。

見えていれば……



茨協が誇る名ガイド　宮内副会長

無事に帰港！

趣向を凝らした観光を通して、他県の協会員の方々ととても楽しく交流することができ、親睦をさらに深めることが出来たと思います。また、茨城県の新たなおもしろさを発見していただくことが出来たと思います。

平成25年度 技術者研修会を開催

設備保全委員会
委員長　高野　和美

９月４日（水）「平成25年度技術者研修会」を茨城県総合福祉会館の４階研修室で開催しました。

今回は、今までの座学、工場見学といった研修から参加者が主役となる「全員参加の研修」として、テーマ５点について討議して頂く場を企画致しました。

この研修会は、実験的な試みでもあり不安の入り交じる中、参加者31名を５班に編成した後、自己紹介から始まり、議題に沿っていろいろな意見を出して頂きました。

自分に無いものに気づいたり、一言に思わず感動したりと、思っていた以上の討議が有り、気がつくと採点委員も採点抜きで討議に加わってしまいました。

班毎のチームワークが良く、休憩を取らない程熱が入っており、一生懸命取り組んでいる姿には大変感動を致しました。

採点委員として宮内副会長、砂押専務、高野設備保全委員長、高橋・植田両副委員長で討議内容、書類審査を致しました。

どの班も十分討議され、公平な採点が出来ない位最大限の努力を伺う事が出来ましたが、「職場のコミュニケーション」をテーマにした班を最優秀と決め、宮内副会長から表彰を受け、参加者には会長から修了証の交付を受けました。

特に結論として「職場のコミュニケーション」を良くするには

・言葉の返事より、態度による返事を心掛ける
・言葉と一緒に心も添える

と言う文章が心に残る研修会でした。

参加者が主役！

５班にわかれての討議が進む

チームワークが大事！

最優秀チームの皆さん

平成25年度技術者研修会に参加して

東京ビジネスサービス㈱　寺田　義弘

このたびは、９月４日に開催された「技術者研修会」に参加させていただきました。今回の研修会は、設備保全に関する専門的な技術・知識を学び取る研修会ではなく、「テーマ別にグループ討議をする」という内容でしたので、正直申し上げると、研修会が始まる直前まで、どうなるものかと、不安と緊張が入り混じる状況でございました。

研修会は、参加者が５つのグループに分かれる形で、下記の討議テーマが、それぞれ与えられました。

「設備保全上の安全性についての取り組み」
「良い企業の条件とは」
「あなたの大事な事とは何か」
「職場内のコミュニケーションについて」
「ビルメンテナンス業について思うこと」

討議テーマは、どれも簡単そうに見えて、よくよく考えると、とても難しい内容だと思いました。そんな中で、私達のグループは、第１班となり、「職場内のコミュニケーションについて」をテーマにディスカッションを開始しました。

はじめは、討議テーマを意識し過ぎて、皆ぎこちない自己紹介からスタートしましたが、時間が経つにつれ、「趣味」や「最近の出来事」で雑談が膨らみ、なんでもない会話から討議テーマである「職場内のコミュニケーションについて」へ辿り着きました。

グループの皆と話していて、どこの職場でも「コミュニケーション不足」が起因となって、様々な問題が生じていることを痛感いたしました。自らが言おうとしていることが上手く表現できなかったり…、伝わらなかったり…、業務上は特に、お客様や職場の上司・同僚等、話が食い違っての解釈をしないように、疑問点が生じた時などは、こちらから改めて確認をするなど、誠意をもって一人ひとりと言葉を交わすことが、今更ながらとても重要なことだと再確認した次第であります。これは、私自身も改善すべき事柄ではありますが、スタッフ一人ひとりが、そういった意識を持ち、業務に取り組むことができれば、お客様からも今以上の信頼を得て、パートナーのような存在になれるのではないでしょうか。

ビルメンテナンス業は、「お客様にサービスを提供する仕事」であります。お客様の要望や要求に十二分にお応えするには、どうしても「サービスの質を高める」必要があり、設備管理業務ならば、専門的な技術や知識を深めることは勿論のことですが、「サービスの質を高める」ということは、それ以上に、‘人’として、成長して行かないと成り立たないのではないか。と感じました。また、サービスの評価を決めるのは、「自分ではなく、相手である」ということを考えますと、お客様をはじめとして、一緒に働く職場の仲間もそうですが、誰に対しても、「普段から相手方と上手に接すること」を心掛けることが、とても大事なことではないか。と、グループ討議を振り返り、考えるようになりました。

今回の研修会に参加して思うことがあります。今の社会は、電子的なコミュニケーションツールが普及し、メールのみで用件を済ませたりして、職場単位でも会社規模でも、「人と人との関わりで成り立っている」という大原則を忘れそうになる時代です。人との関わりは、お互いに顔を見合わせ、相手の表情や態度、身振りなどを見ながら、話をすることが原則です。そして私達は、ビルメンテナンス業に携わる一技術者である前に、一社会人として、更に言うならば、一人の‘人’として、これからも数多くの方々と出会う機会があるならば、お互いの存在を認め合い、心豊かな人間になれるように、努めていきたいと思います。

平成25年度「労働安全衛生大会」を開催

労働安全衛生委員会
委員長　田口　順章

10月23日（水）午後１時30分から、「平成25年度労働安全衛生大会」を茨城県総合福祉会館１階のコミュニティホールで、64名（非会員を含む）のご参加をいただき、開催いたしました。

大山会長あいさつ

ご来賓あいさつ
労働基準部長　永野様

大会は、那花労働安全衛生副委員長の司会により進行し、来栖副会長の「開会のことば」で開始されました。

まず、主催者を代表して大山会長から挨拶があり、次に、ご来賓として茨城労働局 労働基準部長 永野和則様からご挨拶及び県内の労働災害発生状況等のご説明をいただきました。

その後、私から平成25年度労働安全衛生標語の入賞作品の選考経過報告を行い、続いて秋山労働委安全衛生副委員長から入賞作品の発表があり、大山会長から、金、銀、銅の各賞の受賞者計６名の方々に、表彰状と記念品が贈呈されました。

受賞した各作品は、会場のサブスクリーンに映写し、受賞者の栄誉を称えました。

次に、講演に移り、公益社団法人茨城県栄養士会副会長 岡 純子様を講師に迎え、「生活習慣病を予防しよう」という演題で講義を受けました。

次に、私から、ストローク「心の栄養」について、自分の実体験を踏まえて解説を行い、ストロークへのご理解をより深めていただくため、音楽と共にスクリーンに心の栄養となる「詩（ことば）」を映写しました。

次に、大会の締めくくりとして、満場一致で採択された「大会宣言」を、私と出席者全員で唱和し、労働安全衛生対策に取り組む決意を新たにしました。

その後、宮内副会長の「閉会のことば」で、今大会も盛会のうちに終了しました。

大会宣言：田口委員長

全員で大会宣言を唱和

平成25年度　労働安全衛生大会　大会宣言

「私たち茨城県ビルメンテナンス協会は、常に労働安全衛生法を遵守するとともに、安全かつ、健康的で快適に働ける職場環境の確保をめざし、強い決意をもって鋭意努力していくことを、ここに宣言します。」

平成25年度 労働安全衛生標語 入賞作品の紹介

■ 労働安全衛生委員会

労働安全衛生委員会では、今年度も労働安全衛生標語の募集を行いました（募集期間：７月31日～８月30日）。

今回の応募作品総数は、1.449作品でした。その中から、あらかじめ、１会員50作品を選考いただき、協会へ提出された580作品について選考会を行い、下記のとおり、入賞作品16点（金賞１点、銀賞２点、銅賞３点、佳作10点）を決定し、「平成25年度 労働安全衛生大会」において発表、表彰を行いました。

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

平成25年度 労働安全衛生標語 入賞作品集

金賞	気をつけろ！ 危険はいつも君のそば 知恵出し 声掛け 安全職場	東京美装興業㈱ 茨城支店	山戸みちよ
銀賞	事故防止一人ひとりの心掛け　目配り　気配り　思いやり	㈱裕生 つくば営業所	高柳　彰
	安全は小さな努力の積み重ね　成果は大きく無災害	日本不動産管理㈱ 茨城支社	新井　道明
銅賞	焦る気持ちと思い込み　慣れた作業で招く事故	綜合建物サービス㈱	衣笠　幸一
	知らせよう　ヒヤリハットの体験を　伝えて防ぐ　明るい職場！	㈱ニッソウ	安藤　正一
	プロの目で 小さな危険も見過ごすな 災害ゼロは 職場の誇り	関東ビルサービス㈱	竹内　美里
佳作	ハットしたその瞬間を忘れずに　今日も行う安全点検	㈱裕生 つくば営業所	浅野　祐一
	見直そう　慣れた作業に落し穴	㈱ともゑ	青木　義和
	「心掛けよう　報・連・相　皆で目指そう　ゼロ災害」	日本不動産管理㈱ 茨城支社	長津　俊一
	重ねよう　小さな改善　大きな安全	テスコ㈱ つくば支店	濱﨑　正
	「お陰様です」「ありがとう」感謝の心で繋がる輪	常陽メンテナンス㈱	山本由美子
	あぶないよ　厳しい監視　親心	㈱全日茨城	堀　文子
	みんなの健康　職場の宝　日々の意識と自己管理	高橋興業㈱	登坂　大希
	ヒヤリ・ハットは危険の印　みんなで摘み取り安全職場	日興美装工業㈱ 茨城支社	村田　隆男
	安全は　子供の未来　明日に繋げる　安全作業	㈱アビック	大高　恒治
	ゼロ災害　器具の整備とみんなの自覚	㈱アメニティ・ジャパン	渡辺　明郎

※ 漢字・かな使い等すべて原文のまま転載　　（敬称略）

入賞作品（16点）については、今後一年間にわたり、本誌の各ページ下に掲載します。

ビルメンヒューマンフェア ‘13
「第13回全国ビルクリーニング技能競技会」を見て

建物衛生委員会　副委員長
㈱エム・ビー・シー　藤原　　明

◇全国技能競技会の開催

ビルメン業界の一大イベント「ビルメンヒューマンフェア'13」が、去る10月30日・31日の２日間、さいたまスーパーアリーナ（さいたま新都心）で開催され、31日にフェアの恒例行事として、フェアの華である「第13回全国ビルクリーニング技能競技会」が開催された。

ビルクリ最強王座決定戦の場

◇本県協会から初めて出場

２年に一度開催される全国ビルクリーニング技能競技会は、全国のビルクリーニング技能士約４万人を代表して９地区から選出された総勢18名による「ビルクリ最強王座決定戦」とも言えるものである。

今回は、茨城県ビルメンテナンス協会の井口 和子選手（テルウェル東日本㈱ 茨城支店）が関東甲信越地区の代表選手４名の１人として出場したが、当協会の選手が全国技能競技会に出場するのは初めてである。

◇競技仕様

今回の第13回技能競技会では、作業面積の拡大や什器・設備等の障害物の設置、出入り口には三方枠が設けられ、競技仕様の難易度がより高く変更された。

しかし、制限時間は20分と、前回と同じ時間設定のままで、20分以内で競技を終了させるのは至難の業である。競技は、朝９時半より２名１組で、２コート同時スタートで開始された。

◇井口選手が競技を開始（驚異的な早さ、パーフェクトな正確さ）

井口選手は２組目10時からのスタートである。今回より応援席が用意され、選手・応援団が会場一体となって競技会を盛り上げることができるようになった。

２組目いよいよ井口選手が競技を開始。「はじめます」スタートの挨拶をする。井口選手の緊張はピークに達しているはずなのに、満面の笑みで挨拶をする。思わず会場から「かわいい」の声が飛び出した。

井口選手の競技内容はスピード感あふれる中にも、確実に作業をこなしていく冷静さがあり、見ていても不安は無く安心して見ていられた。応援団も盛大な応援を送り会場は盛り上がった。競技が終了し、タイム発表である。「17分58秒」、驚異的な早さだ。

しかも競技内容もパーフェクトな正確さでした。今までの練習の中でも18分を切ることはなかったのですが、

全国大会初出場！熱い声援を送る応援団

本番で18分を切るとはさすがです。18名の選手男女含めて18分を切ったのは５名だけでした。競技を終えた井口選手も、自分の競技内容に満足したのか、競技終了し安心したのか、応援団の同僚の皆様の中に囲まれて、感動し涙を流しておられました。

◇結果発表（感謝、感謝）

出場者９組18名の競技が全て終了し、いよいよ結果発表。今回は、茨城県代表選手の全国大会初入賞かとの期待が高まる中、次々に各賞が発表された。

しかし、今回は残念ながら関東甲信越地区の代表選手は、４名とも名前を呼ばれることはありませんでした。

茨城県ビルメンテナンス協会初の全国大会出場の快挙を成し遂げた井口 和子さん、今回は全国入賞を逃しましたが、パーフェクトな演技と驚異的なタイムをたたき出したあなたはすばらしい！感動をありがとう！そしてお疲れ様でした。

正確に

スピーディに

練習のすべてを出しきって

パーフェクト!!

「第13回全国ビルクリーニング技能競技会」に出場して

テルウェル東日本㈱ 茨城支店　井口　和子

全国大会という大きな舞台で自分の実力を試すことができ、自分の人生に於いてよい経験ができました。

私は、平成24年３月にビルクリーニング技能士を取得し、経験も浅く当初は、自信も無く不安が先立ち、投げ出したいという気持ちでした。

そんな中、大勢のスタッフの方々に支えられ練習を重ねるごとに日増しに自信が付き、無事大会が終了できました。今は、「感謝の気持ち」で一杯です。

今後については、社内のインストラクターとして今回習得した技術を後輩に伝え、２年後の大会に向け新たな人材育成をしたいと考えています。

「本当にありがとうございました。」

井口さん、
ありがとう！

平成25年度　小学生清掃活動トレーニング事業

当協会では、今年度、全国ビルメンテナンス協会が定めた「東日本大震災に係る平成25年度社会貢献事業」（平成25年８月21日）に基づき、全国ビルメンテナンス協会から助成を受け、「小学生清掃活動トレーニング事業」を開始しましたが、先日、大きな成果をあげて無事終了することができました。

これは、茨城県教育庁義務教育課の深いご理解と多大なるご支援並びに対象校の校長先生をはじめ教職員の皆様方のご協力、そして何よりも会員各社及び社員の皆様方のご尽力によって成し得たことです。改めて、関係各位に心から感謝申し上げます。

来年度も、小学生が、適切な清掃の技能と衛生的な環境の大切さを理解するための一助となりますよう、当協会の社会貢献の一つとして、本事業を継続する予定でおりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いします。

写真提供：笠間市立稲田小学校

写真提供：鹿嶋市立豊津小学校

平成25年度 小学生清掃活動トレーニング事業の実施概要

班	実施会員	実　施　者	実施日時	学校名
1	㈱アメニティ・ジャパン	桜澤 勝利	9月25日（水） 13：00～13：40	日立市立 仲町小学校
	協会（塩谷講師）	○塩谷 文則		
	㈱暁恒産	亘理 正英　菊地 洋子		
2	㈱エム・ビー・シー	○藤原 明	10月29日（火） 13：45～14：30	水戸市立 赤塚小学校
	茨城ビル代行㈱	鹿嶋 史子		
	ＪＲ水戸鉄道サービス㈱	草野 隆		
	常陽メンテナンス㈱	永井 勇二		
3	東京美装興業㈱ 茨城支店	○矢口 純二	10月25日（金） 10：40～12：20	笠間市立 稲田小学校
	関東ビルサービス㈱	稲田 正則　秋山 弘美		
	協会（塩谷講師）	塩谷 文則		
	茨城ビル代行㈱	鹿嶋 史子		
	㈱裕生 つくば営業所	浅野 祐一		
	㈱アメニティ・ジャパン	桜澤 勝利		
	テルウェル東日本㈱ 茨城支店	清水 博文 中川 真実　萩谷 恵子		
4	国際ビルサービス㈱ 茨城支店	○大曽根 弘之	10月28日（月） 13：15～14：00	鹿嶋市立 豊津小学校
	綜合建物サービス㈱	田中 正二郎		
	タカラビルメン㈱	石井 節子　岩佐 順子		
5	高橋興業㈱	金井 昭彦	11月15日（金） 13：45～14：30	土浦市立 荒川沖小学校
	国際ビルサービス㈱ 茨城支店	○大曽根 弘之　赤澤 弥		
	協会（塩谷講師）	塩谷 文則		
	タカラビルメン㈱	岩佐 順子		
6	関東ビルサービス㈱	稲田 正則　秋山 弘美	9月27日（金） 13：50～14：35	石岡市立 東小学校
	㈱エム・ビー・シー	○藤原 明		
	東京美装興業㈱ 茨城支店	矢口 純二		
	テスコ㈱ つくば支店	酒寄 喜美枝		
	日本不動産管理㈱ 茨城支社	渡辺 綸　花島 順子		
	ＪＲ水戸鉄道サービス㈱	田口 晃		
7	綜合建物サービス㈱	○田中 正二郎	11月19日（火） 13：55～14：40	龍ヶ崎市立 長山小学校
	㈱全日茨城	小野 誠		
	タカラビルメン㈱	石井 節子　岩佐 順子		
	日本設備管理㈱ 取手支店	吉田 光博　大津 あさ子		
8	常総ビル整美㈱	○池田 弘　相田 富美子	11月18日（月） 13：20～13：50	古河市立 古河第四小学校
	㈱塚越産業	藤平 清史		
	協会（篠崎講師）	篠崎 嘉勝		
	㈱イーエス商会	杉岡 貴志		
	㈱ヤマニ商会	島田 剛史		
	㈱ニッセイ結城	須藤 富夫		
9	常総ビル整美㈱	○池田 弘　藤田 かつ子	9月26日（木） 13：30～14：30	筑西市立 嘉田生崎小学校
	㈱塚越産業	藤平 清史		
	協会（篠崎講師）	○篠崎 嘉勝		
	㈱イーエス商会	杉岡 貴志		
	㈱裕生 つくば営業所	浅野 祐一		
	㈱ニッセイ 結城	須藤 富夫		

○印　小学校との事前打合せ実施者　（順不同）

平成25年度 ビルクリーニング技能検定受検準備講習会 開　催

建物衛生委員会
委員長　曽根　　彰

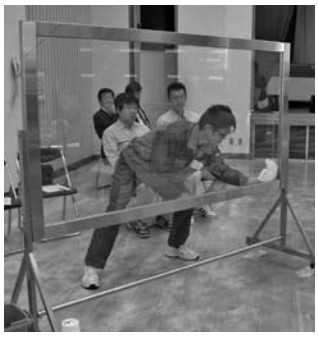
今年度の「ビルクリーニング技能検定受検準備講習会」を、水戸市：茨城県立青少年会館において下記の２回にわたり開催致しました。

第１回：11月19日（火）・20日（水）２日間

第２回：12月５日（木）・６日（金）２日間

講習会では、「床面洗浄作業」「ガラス面洗浄作業」「カーペット汚れ取り作業」の３科目に分かれて各協会講師指導の下に熱心な実技指導が行われましたが、受講者の皆さんにおかれましては、各科目ごとの作業方法の修得が未だ浅く、先ずは作業手順の修得に時間を割かせて頂きました。

ともあれ、受講者の皆様には更なる練習を積まれまして、全員が合格されますよう、講師一同ご祈念いたします。



平成25年度 シニアワークプログラム事業 クリーンスタッフ技能講習の実施

■ 建物衛生委員会

建物衛生委員会では、毎年、公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会より受託している「シニアワークプログラム事業 クリーンスタッフ技能講習」を下記のとおり実施しました。

拠点	期　　間	受講者数	合同面接会 出席会員数
水戸市	８月27日（火）～９月５日（木）の間　７日間	17名（男性10名　女性７名）	４社
石岡市	10月15日（火）～10月24日（木）の間　７日間	13名（男性10名　女性３名）	２社
日立市	11月５日（火）～11月13日（水）の間　７日間	17名（男性15名　女性２名）	－

今回は、１会場において、台風による講習の中止があり、その１日分を補うために、残りの日数の中で、講習を延長するという、予測不可能な事態もありましたが、今年度の計画どおり、３会場における講習を無事終了することができました。

業務ご多用中のところ、ご協力いただきました会員各社並びに協会講師各位には、厚く御礼申し上げます。

理事会だより

第７回常任理事会

日　時　７月30日（火）　14：00 ～ 17：00
場　所　協会 会議室
出席者　大山会長、来栖・宮内副会長、曽根・鷹巣・高野・池田・田口各常任理事
砂押専務理事
議　題　(1) 第42回関東甲信越地区例会 茨城例会の運営について
(2) 各委員会報告及び計画等について
(3) その他

臨時常任理事会

日　時　８月20日（火）　15：00 ～ 17：00
場　所　協会 会議室
出席者　大山会長、来栖・宮内副会長、高野・池田・田口各常任理事、砂押専務理事
議　題　(1) 小学生清掃活動トレーニング事業について
(2) その他

第８回常任理事会

日　時　10月23日（水）　10：00 ～ 12：00
場　所　協会 会議室
出席者　大山会長、来栖・宮内副会長、曽根・鷹巣・高野・池田・田口各常任理事
那花・秋山労働安全衛生副委員長
議　題　(1) 平成25年度労働安全衛生大会の開催要項について
(2) 第42回関東甲信越地区例会 茨城例会の報告について
(3) 小学生清掃活動トレーニング事業の進捗状況について
(4) ビルメンヒューマンフェア‘13 への対応について
(5) その他

（茨城例会）第１回実行委員会

日　時　８月28日（水）　14：00 ～ 17：00
場　所　協会 会議室
出席者　大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・高野・池田・田口各常任理事
砂押専務理事
議　題　(1) 茨城例会の参加状況について
(2) 例会での役割分担について
(3) 懇親会での役割分担について
(4) 会場ホテルとの打合せ事項について
(5) 参加者手土産等について
(6) 観光コースについて
(7) ゴルフコースについて
(8) (茨城例会) 第２回実行委員会の開催について
(9) その他

（茨城例会）第２回実行委員会

日　時　９月27日（金）　14：00 ～ 17：00
場　所　ホテル マロウド筑波
出席者　来栖・宮内副会長、曽根・鷹巣・高野・池田・田口各常任理事、砂押専務理事
議　題　(1) 茨城例会の開催概要（配布資料）について
(2) 役割分担について
(3) 観光コースについて
(4) ゴルフコースについて
(5) その他

各委員会だより

労働安全衛生委員会

◇ 第３回委員会

日　時　７月24日（水）　15：00 ～ 17：00

場　所　協会 会議室

出席者　田口委員長、那花・秋山副委員長、増田・川上・飯竹各委員、砂押専務理事

議　題　(1) 平成25年度年間事業計画について
① 労働安全衛生標語の募集について
② 労働安全衛生大会の開催について
③ その他

◇ 標語選考会

日　時　９月10日（火）10：00 ～ 12：00

場　所　協会 会議室

出席者　田口委員長、那花・秋山副委員長、曽根・鷹巣・高野・池田各常任理事
砂押専務理事

議　題　(1) 優秀作品の選考について
(2) 大会宣言(案)の素案について
(3) 標語募集要綱の改定等について
(4) その他

設備保全委員会

◇ 打合せ会

日　時　８月29日（木）　14：00 ～ 16：00

場　所　協会 会議室

出席者　高野委員長、高橋・植田副委員長
砂押専務理事

議　題　(1) 平成25年度技術者研修会について
① 班分けと役割分担について
② テーマの割り振りについて
③ 審査について
④ 研修会の進行について
⑤ その他

新たな年のスタートに！

平成26年 新春賀詞交歓会

開催のお知らせ

期　日　平成26年１月23日（木）

時　間　午前11時開会（受付は午前10時より）

会　場　水戸プラザホテル 2F「ボールルーム」
水戸市千波町2078－1
TEL　029－305－8111

会　費　１名様　10,000円

☆ 会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。☆

建物衛生委員会

◇ 第５回建物衛生委員会

日　時　11月１日（金）　15：00 ～ 17：00

場　所　協会 会議室

出席者　曽根委員長、大曽根・藤原副委員長
塚越・塩谷・篠崎・井上各委員
砂押専務理事

議　題　(1) 平成25年度ビルクリーニング技能検定受検準備講習会の開催要項について
① 日時・会場について
② 内容等について
③ 担当等について
④ その他
(2) 第13回全国ビルクリーニング技能競技会報告について
(3) その他

広報委員会

◇ 第５回委員会

日　時　11月11日（月）　15：00 ～ 17：00

場　所　協会 会議室

出席者　宮内副会長、池田委員長、湯原・古市副委員長、舘・助川・佐藤各委員

議　題　(1)「茨協ニュース（第87号）」の発行について
(2) その他

◇ 編集会議

日　時　11月25日（月）　15：00 ～ 17：00

場　所　協会 会議室

出席者　池田委員長、古市副委員長、舘・助川・佐藤各委員

議　題　(1)「茨協ニュース（第87号）」の編集作業について
(2) その他

会員告知板

◇ 退　会（25年10月31日付）　賛助会員　鈴川商事㈱

茨城労働局からのお知らせ

茨城県最低賃金が「時間額713円」に改定

茨城県労働局では、茨城県最低賃金を
時間額713円（昨年度額より14円引上げ）に改正決定しました。
平成25年10月20日（日）から、茨城県内の全産業・全労働者に適用されます。

賃金額が「茨城県最低賃金」を下回る雇用契約は、労使双方の合意であっても、最低賃金法により、賃金額については無効とされ、最低賃金額と同額の契約をしたものとみなされます。

最低賃金についての詳細は、
茨城労働局 労働基準部 賃金室（電話 **029－224－6216**）
または、最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

会員紹介

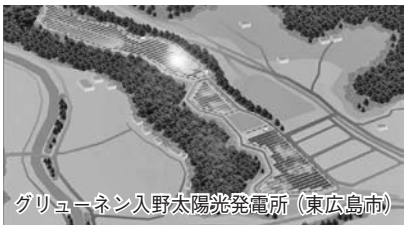
Ibaraki Building Maintenance Association

株式会社 シービーエス

昭和35年の創業以来、建物管理を通じ、お客様のニーズに応え続けてまいりました。

そのニーズも時代とともに変化を遂げ、弊社の提供するサービスも大きく変遷しております。近年は再生エネルギーへの社会的ニーズから、メガソーラー事業への進出を試み、原発事故による放射能汚染から、地域住民の生活を取り戻すための除染事業を展開しております。

我々は、これからも世の中に必要とされる企業を目指します。


グリューネン入野太陽光発電所（東広島市）

建物外装の線量測定作業（福島県内）

株式会社 シイナクリーン

当社は茨城の県南地区を主としたビルメン業務を行っております。

昭和53年３月に設立し産業廃棄物収集を始め管工事等の請負業務も実施し、建物施設管理においてお客様からの幅広いニーズに応え素早く問題を解決できるようにワンストップサービスを心がけています。

常に建物施設を利用している人は誰なのか、顧客の要望している事は何なのか、必要なハードとソフトはどれであるのかバランスの良いサービスを提供できるように日頃から実施しています。今後はCSRやBCPなどより社会と深いつながりを持てるような地域企業を目指して貢献したいと思います。

新生ビルテクノ株式会社 北関東支店

弊社は、昭和35年８月に東京、上野の地で創業以来半世紀に亘り総合ビル管理を業務として、設備・保守管理業務、遠方監視業務、清掃業務、受付・電話交換業務、スポーツ施設管理業務、警備業務並びに人材派遣サービスの提供を通して社会に貢献してまいりました。

昭和50年５月に茨城県に筑波支店を開設、平成17年に北関東支店に改名変更し現在に至っております。

変圧器絶縁油耐圧試験

2013年北関東支店目標

１つの見直し、１つの改善、１つの削減を支店一丸となって行っております。

これからも、より多くのお客様のニーズに応えられますように、「高品質のサービス」の提供に努めてまいります。

株式会社 新日警管財

当社はビルの総合管理業務、清掃業務、警備業務、環境関連業務を中心に建築物環境衛生総合管理業として創業40周年を迎えます。

創業以来多様化する社会環境の中で、お客様とともに発展し、「快適な居住空間を創造する」をモットーに、時代の要求を先取りした業務対応を提案するとともに、社訓である「初志貫徹」に基づき毎日の業務を誠実に行ってまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

JR水戸鉄道サービス 株式会社

当社は、1976年に設立以来、お客さまに安心・快適なサービス空間を提供するため、JR東日本水戸支社の駅舎清掃、車両の検修・清掃、基地における入れ換え運転、寮の給食、ビル清掃などの業務を展開している会社です。

JR水戸駅清掃風景

社員一人ひとりの成長と技術力を向上すると共に、全員が笑顔でチームワークを結集し、お客さまの安心・信頼を基軸に「究極のサービス企業」として鉄道業界顧客満足度№１を目指しています。

列車への一礼運動

特急(E657系)清掃後

次号の会員紹介は、常総ビル整美㈱、常陽メンテナンス㈱、須永ビルサービス㈱、㈱セフテック、㈱全日茨城にお願いする予定です。ご協力よろしくお願いします。

編 集 後 記

平成25年12月号の編集後記を書くにあたり、あまりにも今年は出来事の多い年であったか…。

４月には一般社団法人として協会が新たなスタートをしました。６月に総会を行うと、すぐ10月の関東甲信越地区例会・茨城例会の準備が始まりました。

常任理事会を毎月開き、10月10日（木）・11日（金）の一泊二日で、ホテルマロウド筑波を会場と決め、例会を運営する実行委員会を立ち上げました。また、案内や受付、会議進行などの打ち合わせを何度もしました。

特に観光のコースを決める為に下見をしたり、関係各位に協力をして戴いたりしました。誠にありがとうございました。協会の会員各位、関係の皆様のお陰で盛会に例会が出来ました。

９月～11月には、小学生清掃指導。県内９小学校で実施しました。初めての子供達の指導、各指導員、各学校の先生達も前向きに行いました。「来年も清掃指導を行ってください!!」と言う学校からの要望も多くいただきました。

これからも、協会員の皆様の協力がもらえるように広報委員会は全力でガンバリます。

常総ビル整美㈱
池田　　弘

地区例会懇親会の中締め
池田理事（広報委員長）

今号の編集者

◎委 員 長
池田　　弘（常総ビル整美㈱）
◎編集委員
古市　茂樹（茨城ビル代行㈱）
舘　由紀夫（新生ビルテクノ㈱）
佐藤　秀夫（ＪＲ水戸鉄道サービス㈱）
助川　和徳（日興美装工業㈱）

発 行 所
茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
☎029-305-5111　FAX 029-305-5112
E-mail：ibma1@ceres.ocn.ne.jp
http://www.ibaraki-bma.or.jp/

責 任 者　会　長　大山　進
編集責任者　広報委員長　池田　弘
発行回数　年3回
印 刷 所　㈲クリエイティブサンエイ